

自治体としての責任を果たしているか

9月議会
決算審査
24日～29日

9月24日から29日まで、各常任委員会で決算審査が行われました。

市民福祉常任委員会 (25日)

釘丸久子議員 公立保育所の民営化に向けた取り組みと、市民からの意見はどうだったのか。

保育課長 昨年度、民営化基本計画をつくった。計画策定についてはパブコメ等を実施した。パブコメでは10件の意見があった。もみじ保育所で今年4月から引き継ぎのための合同保育を行っている。

釘丸議員 斎場の稼働率向上に向けた取り組みは、維持管理について斎場管理担当課長 月1回の施設見学会、年1回の説明会などPRに努めている。視察も山形から沖縄までの9団体13自治体からあった。県と12市共同の建築コンクール一般建築部門で優秀賞を受けた。

「非日常的な出来事に対応した(中略)理想的なモデル」と評価された。建設時に火葬棟に寄付されたグラウンドピアノは、年2回の調律をして、火葬のある日は自動演奏でBGMを流している。

釘丸議員 介護保険の予防事業には一次と二次がある。それぞれどうだったか。二次終了後の継続が必要だ。

高齢福祉課長 二次は65歳以上の偶数年齢の市民にチェックリストを送付し、回答のあった中から状態を見て案内する。終了後は、

次回の案内や自宅までできるもの、地域の教室を紹介する。

都市経済常任委員会 (29日)

観光施設維持管理・維持補修事業費について

栗山香代子議員 平成25年度の特徴的なことは。

観光振興課長 2月の大雪でハイキングコースで倒木があり、その対応を行った。倒木などの報告は通常はハイカーや地元からなされるが、大雪や台風の後には職員が歩いて調査した。

栗山議員 飯山桜の広場の猿小屋は、課長 台風で桜の古木が折れ、猿小屋の屋根が壊れた。桜の古木の危険があるので調査する。猿は現在2頭。天寿を全うするまできっちり飼育すべきものと考えている。

建築確認申請等手数料について 栗山議員 厚木市と民間の確認申請件数の推移は。

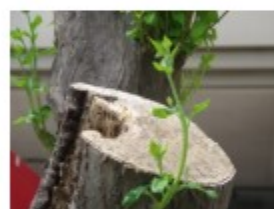
建築指導課長 本来行政しかできなかったものを民間に移した。平成20年からの推移は表のとおり。厚木市の有資格者は平成11年が最多の21人。その後減って現在は8人である。

	市	民間	合計
H20年	377	812	1189
H21年	225	822	1047
H22年	159	1058	1217
H23年	138	1059	1197
H24年	130	1237	1367
H25年	104	1254	1358

今週の活動から



6月にバッサリ切られた木(下の写真)が、今では葉が生い茂っています。植物の成長力に驚きです。
(上:釘丸久子議員)



平成26年4月から中町のにぎわい処があつぎセーフティステーション番屋のみになりました。街なかで気軽に立ち寄れる場所だったけど。(下:栗山香代子議員)



市議会の第6回議会報告会

11月11日(火) 19時～	厚木南公民館	(総務企画常任委員会)
11月13日(木) 19時～	南毛利公民館	(市民福祉常任委員会)
11月15日(土) 10時～	厚木北公民館	(環境教育常任委員会)
11月15日(土) 14時～	睦合南公民館	(都市経済常任委員会)

うか。

課長 法改正があり、特定行政庁としての業務が増えており、スキルアップが必要となっている。事故の報告や相談も増えている。

決算審査の後、次年度に向けた要望事項を各委員が出しました。本会議最終日には各委員の要望事項を取りまとめ、委員長が報告します。党議員団は次の内容です。

釘丸久子議員

少子高齢化が進む中、多様な市民サービスが展開されているが、サービス低下を来さないよう、国・県の財源確保に取り組み、予算編成及び事業執行に留意されたい。

栗山香代子議員

業務量に見合った人員配置は当然のこととして、知識と技術の継承によって自治体としての責任を果たしていけるような人材育成に配慮していただきたい。